

# 中経 論壇

愛知工業大学名誉教授  
岡崎 一浩



かつて会社の中型事務用機はオフィスコンピュータ(オフコン)と呼ばれ、日本の給与計算、税務申告および会計処理の分野でキメ細かいニーズに应运ってきた。これで日本の複雑な税務申告や年金実務などのコンピュータ化をこなした。

その頃の日本企業の力の源泉は、実務に即した社内教育にあった。オフコンについても、昔は今ほどにセキユリテイもわずらわしくない時代だったから、コンピュータ志向の経理部員は残業して一つのダメー会社データで徹底的に研究し、システムの全体を理解しようとした。

## クラウド無料ソフトの威力

ムや給与計算システムを利用でき、かつ学べるサイト『円簿会計』(株)円簿インターネツトサービス 代表取締役吉田直幸)がある。同社の公式ホームページはwww.yenbo.co.jpである。円簿会計はもとも実務用開発された会計および給与計算ソフトである。従業員10人程度の規模の個人事業や会社にとって、商業、製造業、農業および不動産業には誠に快適に利用できる。一人親方となつて働く場合やあるいは会社員が副業をする場合、いづれにしても少し成功すれば確定申告が必要になるから、会計ソフトが必要になる。

無料であるから、自習用にも一つの『円簿会計』を設定することも可能である。無償化は、言うまでもなく最近

## マイクロソフト式ソフト「円簿会計」

のクラウド技術の賜物である。円簿会計の特徴のうち四つを挙げよう。

(1) 円簿会計は、青色申告での複式簿記の要件も満たしている。

(2) 『弥生会計』とのCSV形式でデータ交換が標準装備されている。弥生会計は業界の代表格であるから、このデータ交換が可能ということは、ほとんどのERPや会計ソフトとのデータ交換が弥生を経由して可能を意味する。

(3) メールでの問い合わせサービスは無料にも関わらず、返事が早い。

(4) 円簿会計は非常にコンパクトに出来ているから、クラウド環境でも処理速度が早い。

クラウド上でソフトを無料で使用させてくれるのは非常に奇抜な考え方と聞こえるかもしれないが、実はマイクロソフト社でも堂々と次のキャッシュコピーで新しいビジネスモデルを展開している。

Web上でWord、Excel、PowerPointなどを無料で使用  
OfficeはMicrosoft 365

では主力ソフトを無料で提供している円簿ではどのようにして利益を回収するか。答えは、円簿会計ではその12万人のユーザーを背景とした広告収入と、ユーザーからのモディファイケーション収入で対応している。

では早速、使いたいと希望される読者へのアドバイスはこうだ。

(個人事業主) 個人事業主の22年(暦年)の確定申告の申告期限は今年3月15日なので、急がなければならぬから、かなり時間的にキツイ。

(法人) 3月決算会社については新年度は23年4月1日から始まるから、今から新年度の準備を始めるが良い。